

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●M.デムーロ騎手がJRA通算1200勝を達成

7月30日(土)の2回新潟1日・第3レースではレッドアヴァンティが1着となり、同馬に騎乗したミルコ・デムーロ騎手(栗東・フリー)は、史上30人目、現役では16人目となるJRA通算1200勝(7054戦目)を達成しました。

### ●C.ホー騎手がJRA初勝利をあげる

7月30日(土)の2回新潟1日・第12レースではカゼノタニノアヤカが1着となり、同馬に騎乗したチャクイウ・ホー騎手(香港)は、JRA初勝利(7戦目)をあげました。

### ●第12回ジョッキーパーベイビーズの沖縄地区代表が決定

7月24日(日)、沖縄県北中城村の中城公園において全国ポニー競馬選手権「第12回ジョッキーパーベイビーズ」の沖縄地区代表選考会が実施され、宗像聖さん(小学6年生・美原乗馬クラブ)が同地区代表に決定しました。決勝大会は10月9日(日)、東京競馬場で行われる予定です。

### ●競理研がIFHAのリファレンスラボラトリーに正式指定

競馬や馬術競技を対象に、主として尿、血液、毛などの馬の生体材料を用いた専門的な検査を実施している公益財団法人 競走馬理化学研究所(競理研)が、国際競馬統括機関連盟(IFHA)のリファレンスラボラトリー(認定検査機関)として正式に指定されました。これは優れた能力を有し、国際的な基準を満たした検査機関として指定されるもので、競理研が世界で6番目の機関となります。リモート審査による暫定的な指定を2021年7月に受けていましたが、今回あらためて正式な指定へと至りました。

### ●セレクションセール開催

7月26日(火)と27日(水)、北海道市場においてセレクションセール(主催: HBA日高軽種馬農業協同組合)が開催されました。2日間に上場された1歳馬301頭(牡210頭・牝91頭)のうち263頭(牡187頭・牝76頭)が落札され、売却率は87.38%。売却総額は48億5300万円、平均価格は1845万2471円で、最高価格をつけたのはレーヌミノルの2021(牡/父ブリックスアンドモルタル/母は桜花賞勝ち馬)で6600万円でした(価格はすべて税別)。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●霧島賞(佐賀)はJRAの鹿児島産馬テイエムラッシュ

九州産馬限定の霧島賞(3歳以上、8月4日、佐賀、1400m、JRA所属馬は2勝クラス)は、5番手から差を詰めた2番人気の昨年の2着馬テイエムラッシュ(石川慎将騎手=佐賀、牡5歳、父トランセンド)が、逃げた1番人気のルビナステソーロを残り50mで差し切って優勝しました。

### ●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド佐賀の結果

2022ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド佐賀は8月4日に実施され、第1戦は永島まなみ騎手(栗東)、第2戦は加茂飛翔騎手(佐賀)が制しています。

### ●人気のベルピットが門別で重賞初制覇【各地の主要2歳重賞】

ブリーダーズゴールドジュニアC(7月28日、門別、1700m)は、3番手から4コーナーで内を突いて抜け出したベルピット(牡、父パイロ)が2馬身半差で完勝、1番人気に応じてデビュー以来の連勝を3に伸ばしています。

### ●テリオスベルらが参戦、8月11日のブリーダーズゴールドC

ブリーダーズゴールドC(JpnⅢ、8月11日、門別、2000m)は、前走マーキュリーCで牡馬相手に2着と健闘したテリオスベルが中心、以下3歳の関東オクス馬グランブリッジ、プリティーチャンス、ハギノリュクス、キムケンドリームの順に有力視されます。※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1ナッソーS~仏オクス馬ナシュワが差し切る

現地7月28日にイギリスのグッドウッド競馬場で行われたG1ナッソーS(3歳上牝、芝1980m)は、女性のH.ドイル騎手を背に最後方でレースを進めたナシュワ(牝3歳、父フランケル、J&T.ゴスデン厩舎)が直線で目を引く末脚を披露して1馬身3/4差で快勝しました。ナシュワはG1英オクスではチューズデーの3着でしたが、続く前走のG1仏オクス(芝2100m)を先行策で制していました。

### ●G1ヴァンダービルトH~ジャッキーズウォリアーが制す

アメリカ・ニューヨーク州のサラトガ競馬場で7月30日に行われたG1アルフレッドG.ヴァンダービルトH(3歳上、ダート1200m)は、57.5%のトップハンデを背負ったジャッキーズウォリアー(牡4歳、父マクリーンズミュージック、S.アスムッセン厩舎)がJ.ロザリオ騎手とのコンビで2馬身差で快勝。これで今年4戦4勝(全て重賞)としました。昨年の米最優秀スプリンター(牡・驕)でもあるジャッキーズウォリアーは2歳時にG1ホープフルS、3歳時にG1H.アレンジャーケンスメモリアルS(ともにダート1400m)に優勝しており、これで3年連続してサラトガ競馬場でG1を制するという史上初の快挙を成し遂げました。